

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（あばしりせいぶ） 網走西部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、網走西部森林計画区のうち、湧別川流域の遠軽町、上湧別町及び湧別町に所在する105千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の森林は、トドマツ、エゾマツ等の針葉樹にミズナラ、シナノキ、カンバ等の広葉樹が混交する天然林が70%を占め、残りの30%が主に昭和30年代に造成されたトドマツ、カラマツ、アカエゾマツ等の針葉樹人工林となっている。</p> <p>当地域は、従来から豊かな森林資源を利用して林業・林産業が発達してきたところであり、近年は、地域材のブランド化を視野に入れ、森林認証の取得拡大が進んでいる。特に木材加工業では建築用材の生産が盛んなほか、木楽館など市民が木材に親しむことができる施設も整備されている。</p> <p>一方、当地域の森林は、ほとんどが保安林に指定されており、地域の水源として生活用水や基幹産業である農業や水産業の振興に資する等、水源かん養や山地災害の防止等の役割が期待されているほか、網走国定公園や白滝流紋岩球顆特定地理等保護林などの貴重な自然環境があり、また、武利岳等の登山対象山岳や北大雪スキー場野外スポーツ地域などの森林レクリエーションの場としても活用されている。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じて実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">58 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,205 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>52.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>50.5 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	58 ha			保育面積	6,205 ha		路網整備	開設延長	52.0 km			改良延長	50.5 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	58 ha																
		保育面積	6,205 ha																
	路網整備	開設延長	52.0 km																
		改良延長	50.5 km																
費用対効果分析	総便益（B）	8,908,025 千円																	
	総費用（C）	1,891,246 千円																	
	分析結果（B/C）	4.71																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 北海道森林管理局

事業実施地区名: 網走西部森林計画区(北海道)

網走西部森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,688,993	
	流域貯水便益	610,684	
	水質浄化便益	823,011	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,523,206	
環境保全便益	炭素固定便益	637,024	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	176,799	
	木材利用増進便益	2,410	
	木材生産確保・増進便益	613,661	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	118,907	
	治山経費縮減便益	35,548	
	森林管理等経費縮減便益	677,782	
総便益(B)		8,908,025	
総費用(C)		1,891,246	
費用便益比		4.71	